



十和田市立中央病院

病院ニュース さわらび

平成 28 年 9 月 1 日号



臓器移植に係る研修会

～病院職員として基本的な知識を身につけよう～

業務課 吉田 武範

平成 22 年の改正臓器移植法の施行により、本人意思が不明でも家族承諾により脳死での提供が可能になったほか、健康保険証や運転免許の裏面には臓器提供意思表示欄が設けられるなど、臓器移植に関する条件や環境は変化してきています。

本研修会は、日本国内での臓器移植を管理している(株)日本臓器移植ネットワークの中村氏と、実際にドナー発生施設と移植施設との連携調整を行っている青森県臓器移植コーディネーター鈴木氏を招いて、医療機関に勤務する職員として身につけるべき臓器移植に関する基本的知識の習得を目的に、8月8日(月)・10日(水)の2回に分けて開催しました。

講師と講演内容



日本臓器移植ネットワーク 広報・啓発事業部 中村 麻由 氏
「臓器移植とは」「移植の歴史と法律」
「移植の現状」について

青森県健康福祉部医療薬務課
青森県臓器移植コーディネーター 鈴木 旬子 氏

「青森県の臓器提供の現状について」「心停止下腎臓提供の流れについて」



臓器移植コーディネーターとは・・・

臓器移植が円滑に行われるように、ドナー・レシピエント・医療機関などとの架け橋的な役割を行う。

日本国内の臓器移植は(株)日本臓器移植ネットワークによって管理されており、移植コーディネーターは(株)日本臓器移植ネットワークから委嘱を受けている都道府県コーディネーターに所属して、臓器移植に関する業務を行う。

質疑応答では、家族の承諾の必要範囲や親族優先提供の条件などについてのほか、疾患や既往歴の扱いなど、主に臓器移植の可否要件に係る質問がなされました。当院も臓器提供施設として、院内コーディネーターが配置されており、今回司会を務めた築場看護局長と水尻信雄主任が担当しています。院内でも周

知が不足している現状に、築場看護局長は「各部署に『院内臓器提供・移植マニュアル』が配布されています。この機会に自部署に戻ったら、当院では今まで数例相談があった程度ですが、患者さんから相談された時にどうすればよいかなど、マニュアルに記載されていますので目を通してください。」と締めくくりました。



【司会】
築場看護局長





平成 28 年度医療チュートリアル体験事業開催

業務課 施設管理係

県内の高校生たちが地域の医療機関を訪ね、施設見学や医療体験を行う『医療チュートリアル体験事業』が、8月18日に行われました。本事業は、医師を目指す高校生たちに、医師の職業的な魅力を知ってもらい、地域医療に対する理解を深めると共に、将来的に地域に貢献できる医師を育成することを目的とし、青森県が毎年開催しています。

今年度は20名の高校生が参加し、院内各部署の見学や松野事業管理者との意見交換、医療現場を直接体験したことで将来の夢への理解を深めてもらえたと感じました。



松野事業管理者(中央)と、高校生の皆さん



寄贈・ご寄附をいただきました

業務課 施設管理係

7月28日(木) 十和田出身の画家で日展会員・示現会常務理事の鈴木實氏の油絵展が十和田市民文化センターにて開催されました。鈴木氏は1994年・1996年に日展で特選、2012年に青森県文化賞などを受賞されています。十和田市での個展開催は20年ぶりで、ふるさとへの感謝をこめて、当院に「運河の街」など3作品を寄贈してくださいました。

鈴木氏は「この絵を見て少しでも癒しになって頂ければと思いますので、皆さんが普段から見られる場所へ飾ってもらえると嬉しいです」と話しておられました。絵画は後日、患者様に見て頂ける外来へ飾りますので、来院の際にはぜひご覧ください。



鈴木實油絵展にて
鈴木實氏(右)と松野事業管理者



この度、寄贈していただいた絵画3点

8月9日(火)に、『玉ノ会(会長:中村昭吾様 写真:左から2人目)』様より「ワンハンド電子血圧計(簡易血圧測定器)」11台のご寄附を頂きました。

これまでもたくさんのご寄附を頂いてきましたが、病棟等で使う電子血圧計の入替えに伴い、ご寄附してくださいました。早速活用させていただきます。ありがとうございます。



ワンハンド電子血圧計



外来担当医表

随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>